



学ぼう政策!

その7

貨物列車は旅客線が有料?

JR 貨物は、各旅客会社に線路使用料を払って旅客線を運行しています。貨物列車は非常に重いため、線路を走ると線路が大きくダメージを受けます。なので旅客会社は JR 貨物から、線路の補修分の費用を線路使用料として貰っています。



アボイダブル・コストルール

JR 貨物が JR 旅客会社に払う線路使用料に関するルールはアボイダブル・コストルール(回避可能経費)という仕組みの名称で呼ばれています。旅客列車を運行させている以上 JR 九州は線路のメンテナンスがそもそも必要なので、基本的に固定費は JR 九州が負担する、JR 貨物は「**貨物列車が走行することによって発生した経費分(レールの交換など)のみ負担する**」というルールです。



アボイダブル・コストルールは国鉄が分割民営化される際に、特に経営基盤が弱かった JR 貨物のコスト負担を少なくするために作られたルールで、各旅客会社が JR 貨物の負担を肩代わりしているといっても過言ではないルールです。



この旅客会社と貨物会社間の線路使用料の協定は2026年度末に更新期限を迎えます。少子高齢化や過疎化の進行、災害の激甚化、さらにコロナ禍を経て各旅客会社とも取り巻く状況が変わってきました。労働組合としては、鉄道貨物輸送の維持は国の物流網の確保であり、国が国策として JR 貨物を支援すべきと提言しています。